

## 【1 分解説】春闘とは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 副主任研究員 奥脇 健史

春闘とは「春季生活闘争」の略で、新年度に向けて、労働者側（労働組合）と経営者側（企業）が労働条件について議論・交渉を行うことを言います。「春闘」は労働組合の全国組織である連合が主に使用している名称であり、経営者側を代表する経団連では「春季労使交渉」という名称を使用します。

毎年2月ごろに各企業、産業ごとの労働組合が経営者側に要求を出すことで交渉はスタートします。交渉では労働条件について幅広く議論が行われますが、特に注目を集めるのは給与の動向、すなわち「賃上げ」です。日本では賃金の低迷が続き、足元で物価上昇が私たちの生活に影響を与えるなか、政府も企業に対して積極的な賃上げを呼びかけるなど、例年に増して「賃上げ」に対する注目は高まっています。

近年、連合側と経団連側は「賃上げ」に対して前向きな姿勢を示しており、労使の方向性は近いものとなっています。これからスタートする春闘は、私たちの生活に直結するものとなります。2024年の春闘において、昨今の物価上昇を上回る「賃上げ」を実現できるのかどうか、各企業の判断に注目が集まります。

### 関連レポート

- ・「足元で広がる賃上げと求められる『人への投資』～人手不足が続く中、重要性が増す労働条件の改善～」(2022年4月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/186160.html>
- ・「よく分かる！経済のツボ『足元で広がる「賃上げ」とその継続に向けて』」(2022年9月)  
<https://www.dlri.co.jp/report/dlri/201071.html>